

2019年度 和歌山市立 宮小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

学校・学級経営方針

- 個性を発揮し、充実感とうるおいを生む学校・学級づくり
- 一人一人が、自覚と責任をもって、ともに伸びようとする学級をめざす
- ◎一人一人の子どもを深く見つめた学校・学級づくり

【学 校 教 育 目 標】

心身共にたくましく、明日の社会を築く、
創造性豊かな子どもの育成

【めざす児童像】

- ・向上心を持ってがんばる子
- ・心が豊かでやさしい子
- ・心身共に明るく健康でたくましい子

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携について弱さがある

児童の実態

- あいさつができる
- 掃除を一生懸命している
- 命を大切にし、決まりを守っている
- 学校が楽しく、毎日の勉強が分かるが更なる努力も必要

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎「授業」で子どもを鍛える
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎同和・人権教育、道徳の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎地域の資源活用の推進
- 保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進

具体的な取組

- 聞く姿勢を育て、学びのルールの定着を図る
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る
- 読み聞かせ、家庭読書、親子読書を推進する

- 教科等指導、生徒指導、学級経営においても、より良い人間関係作りに努め、子どもの自己肯定感を高める
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 児童会での縦割り班活動、学年集会、学級会等で、子ども同士が関わる機会を増やす

- 体育科の学習で、体づくり運動、走・跳に関する運動を推進し、柔軟性や持久力のある子どもを育てる
- 宮健康チェックシートで自分の生活や体について知る機会を持たせ、自己管理ができるように支援する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
- 情報交換・見学・交流会などを通じて、保幼小の接続、中学校区での小小、小中の連携を推進・充実する

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る
- ・わかる授業、子ども主体の授業を実践したと思う(児童・教師90%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・いじめの解消率100%

- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)
- ・給食後の歯みがき(児童100%)

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%)
- ・保幼小又は中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと